

H30年度 微細構造解析プラットフォーム試行的利用制度 概要

	(A)利用料免除	(B)地方支援
募集件数	2件	1件
利用料支援	8万円程度	7万円程度
旅費支援	なし	8万円程度(宿泊費を含む)
応募要件	<p>～(A)、(B)共通～</p> <ul style="list-style-type: none">・ナノテクノロジープラットフォーム事業を利用したことのない研究者・技術者・イノベーション創出のための新しい芽の発掘や今後の研究・開発の進展を期待し得る課題 <p>※同じ研究室・グループから既に利用がある場合は、本制度の対象と見なされません。</p> <p>(B)はさらに以下の要件が必要</p> <ul style="list-style-type: none">・近くに必要な微細構造解析プラットフォーム設備がなく、旅費負担が重いと認められる場合。・旅費を支出してでも実施すべき課題内容(アイデアはあるが装置・資金が不足している若手研究者、成果が期待される、等の理由が必要)	
流れ	<ol style="list-style-type: none">1.ご相談いただきました課題についてはまず、本学で選定いたします。その後、申請書を本学と利用者(申請者)で協力して作成。2.申請書は、本学よりメール添付で代表機関NIMSへ提出。3.代表機関にて審査。審査期間はおよそ10日程度。4.代表機関より本学および利用者(申請者)・責任者へ審査結果の連絡。5.採択後、日程等を本学・利用者(申請者)とで相談し、実施。6.地方支援課題の場合は、代表機関NIMSより利用者(申請者)と責任者へ連絡し、旅費支給の手続きを行う。7.終了後、利用実績書を代表機関に提出(利用報告書・成果の外部への公表は本学に提出)	

※ まずは、[九州大学ナノマテリアル開発のための超顕微解析共用拠点 nano_hvem@hvem.kyushu-u.ac.jp](http://nano_hvem@hvem.kyushu-u.ac.jp) にメールにてご連絡ください ※

<ご参考>

試行的利用申請書(B) 地方支援

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム 微細構造解析プラットフォーム 平成 30年 月 日

2. 概算費用 (単位:円)

様式B 試行的利用制度(B)(地方支援) 申請書

受付番号 記入不用

1. 基本情報

課題の名称	和文			
	英文			
概要	今回実施したいこと、利用装置等を記述してください。			
利用者(申請者)	所属機関名			
	氏名		フリガナ	
	年齢	満	一歳	性別
	所属部署	役職		
	住所	〒		
	TEL	e-mail		
	所属機関の分類			
責任者	所属機関名	《業務管理・安全管理上記載すべき責任者(上長、指導教官等)をこの欄へ記入してください。》		
	氏名	《該当者がいない場合は本欄に「該当なし」とご記入ください。》	フリガナ	
	所属部署	役職		
	住所	〒		
	TEL	e-mail		

費用	内容	項目計	
旅費	例) 1.期間:〇年〇月〇日~〇年〇月〇日 旅程・旅費:想定(予定)経路を基準にその経路と金額を記載してください。 (所属機関)または(自宅)~(実施機関) 宿泊:ありまたはなし 宿泊料: その他: 0	0	
	2.期間:〇年〇月〇日~〇年〇月〇日 旅程・旅費:想定(予定)経路を基準にその経路と金額を記載してください。 (所属機関)または(自宅)~(実施機関) 宿泊:ありまたはなし 宿泊料: その他: 0		0
	旅費合計		
利用料	例) ○○装置(単価7,500円×5H = 37,500円) △△装置(単価5,000円×3H = 15,000円) 000,000 (利用料に含まれる消耗品はこちらへ記載、見積書不要) ○○試薬(単価8,000円×1本 = 8,000円) 000,000	0	
	利用料合計		0

*消費税を含む費用を精算してください。

*実施機関記入欄

実施機関担当者	機関名			
	氏名		e-mail	
実施機関コメント	試行的利用の選定理由を記載ください。			

*代表機関記入欄

代表機関の承認	採択年月日	年	月	日
代表機関コメント				

「所属機関の分類」について: 高等専門学校は「大学等」に含めてください。「中小企業」は中小企業基本法の定義に該当する法人です。